

# そうじの力だより

VOL.175



## 支援事例紹介

突き抜けた存在になる！

〜リーディングカンパニーになるために、基本を徹底する〜

大阪府で、「ハビネスパーク交野」「ハビネスパーク牧野」など、三つの霊園の運営と墓石販売を手掛ける、(株)西鶴。

霊園(墓地)というのと、一般的には「暗く、汚い」というイメージですが、同社の霊園は「明るく、キレイ」で、従来の霊園のイメージを覆しています。

ここで、五年前から、私がお手伝いしての環境整備(整理、整頓、清掃)を通じての組織風土改革が続けられています。

もともと、私が関わった当初から、状態は悪くありませんでした。その当時から、欧風庭園を思わせる霊園はキレイでした。

ただ、事務所やバックヤードに関しては、当初はモノが多く、誰でも分かるようにはなっていないままでした。

そこで、活動の初期では、とにかくモノを捨てていきました。一見すると、必要と思われるモノであっても、一年以上使っていないものは、思い切って捨てていきました。

ファイリングされた書類も、中身を精査して、本当に使う書類だけにしておいて、ダイエツトしていきました。当初はパンパンに膨れ上がっていたファイルも、スリムになりました。

無駄なモノを捨てると、それだけスペースがで、限られた場所を有効活用できるだけでなく、その場の空気が澄み、変化や異常を感じとる「気づ

き」の感覚が上がっていきます。もう一つ力を入れたのが、定位置化と表示です。

私が五年前にお手伝いをはじめたときは、社員は八人くらいの小さな所帯でした。しかし、その後は事業の拡張に伴い、新入社員が入り、現在では十五人ほどになっています。霊園間の異動もひんばんに行われています。

こうなると、以前のように、個人がそれぞれ「なんとなく」分かっていた方がいい、という世界ではなくなってきました。新人や異動した人でも分かるように、定位置化と表示を進めていきました。

一度、整理した所も、数年後に私が「もう一度中身を整理してみましよう」と促し、徹底を図っています。



一度整理した所を改めて整理する

こうした整理、整頓に取り組みことで、今では、備品を置いてある引き出しのすべてに通し番号がつけられ、写真やイラストまで貼られているので、今日入った新人でも、どこに何があるのか、一目で分かるようになっていきました。加えて、それぞれの備品の発注点や単

価までが明記されているので、在庫の管理がしやすくなっています。

同社の社員さんたちの特徴は、皆さん、明るく温かいこと。この環境整備を徹底することで、以前に比べて、ミスや無駄遣いがなくなり、社員同士のコミュニケーションも、良くなってきましたといえます。

同社の山本一郎社長は、ユニークなアイデアマン。昨年の春に開園した「千年オリーブの森」は、樹木葬のみの个性的な霊園。ヨーロッパの王宮の庭園を想起させる清閑なたたずまいで、テレビや雑誌などマスメディアにも多数取り上げられています。



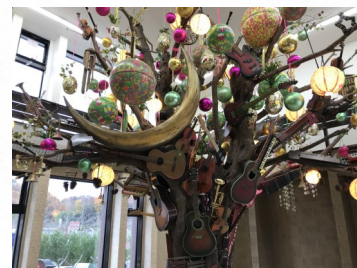
『千年オリーブの森』の全景

「千年オリーブの森」の管理棟の中には、歌手の絢香のCDジャケットに使われている『音楽の木』が移設されています。



みごとに整えられた備品の引き出し

華やかで賑やかな音楽の木は、霊園に眠る人たちに「どうぞ楽しんでください」とささやいているようです。



霊園管理等にある絢香の『音楽の木』

同社が目指すのは、「業界内で良い」と言われるレベルではありません。環境整備にしても、業績にしても、「リーディングカンパニー」として、圧倒的に突き抜ける存在になることです。

山本社長は常々、「環境整備は会社の基本」と言っています。

先日私が訪問し、定例のコンサルティングを終えた後、山本社長がご自身のブログにつづったコメントを、転載させていただきます。

「今年最後の環境整備を終え、たくさん課題をいただいた！できる事はすぐに改善し、お金のかかる事は話し合いで改善し、早くすることがとても大切で、環境整備に終わりは無い。やり始めたときの写真を見るとこれだけ整理整頓できていなくて、残業やイライラがたたくさんあったことは言うまでもなく、業績を上げるためには避けて通れないのが環境整備である。」  
業績の良い会社ほど、基本を大切にしていますね。(小早)

小早祥一郎の著書『そうじ』を見ると、なぜ会社がよくなるのか『好評発売中！』ご購入は、お近くの書店またはネット通販でどうぞ。





## そうじの力コラム

人は変化を嫌うもの  
 ～されど、変化してみれば、いいことはたくさんある～

ここでカミングアウトしますが、私、酒をやめました。

といつても、一滴も飲まないということではありません。正月や慶事、イベントなどでは少量は飲みますが、普段はまったくアルコールを口にしません。

以前の私は、ほぼ毎日飲んでいました。ビールに始まり、料理によって日本酒とワインを飲み分け、足りないときには、ウイスキーやブランデーに進みます。

そんな私が半年以上、ほとんど飲んでいないのですから、これは革命的ですよ(笑)。

きっかけがありました。ちよとした体調不良です。その詳細を述べることは差し控えますが、どうも本調子でない状態が、長く続いていました。

体調を回復すべく、気功を受けたり、漢方薬を飲んだり、サプリメントを摂取したり、いろいろと試していました。

そんなとき、ハタと気づいたのです。ひよとして、酒が良くないのではないかと。

それまでの私は、結構な量を飲みながら、酒をやめる、という発想がまったくありませんでした。

いや、潜在意識の中では気づいていたのかも知れませんが、酒以外に原因や解決策を求めていません。

でも、酒が良くないと気づいた以上、行動しないわけにはいきません。そこから、断酒が始まりました。

最初の一か月間くらいは、酒が恋しく

感じました。理性で我慢している感じですが、でも、一か月をすぎたあたりから、平気になってきました。

まずは百日間断酒をしようという目標があり、その間は一滴も飲まずにすごしました。そして百日が経ち、ここでいったん解禁です。

久しぶりにビールを飲んで、美味さに感激するかと思いきや、さにあらず。同様に、日本酒やワインを飲んでも、あまり美味いと感じません。

どうやら百日の間に、完全にアルコールを「卒業」できたようです。

その後は、上述したとおり、イベント事以外は飲まなくなりました。飲みたいと思わないので、飲む必要がありません。

思えば、自分が酒なしで生きられる人間だとは思ってもみませんでした。最初から、そうした変化を拒否していたのです。

でも、第一歩を踏み出してみると、意外にイケるのです。変化に伴う痛みは、さほどではない上に、変化したことによるメリットは、想像以上でした。

酒が抜けると、良いことがたくさんあります。頭が冴え、体も軽くなります。なにより、家計が助かります(笑)。

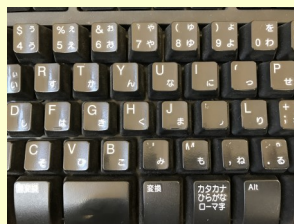
肝心の体調不良ですが、酒が原因というわけでもなかったため、完全に回復したわけではありません。それでも、以前に比べたら、ずいぶんと良くなり、日常生活には支障がなくなりました。

どんな変革も、まずは勇気を出して、第一歩を踏み出すことですね。(小早)

### 編集後記

#### もう限界！

この写真は、私が自宅で使っているデスクトップパソコンのキーボードです。ご覧の通り、長年の使用のために、ところどころの文字盤が消えています。どれだけ酷使したことでしょう(笑)。



Windows7で、動きも重く、ストレスが溜まります。いよいよ、最新のパソコンに買い替える決心をしました。

きっと最新モデルは、サクサク動き、仕事が大いにはかどることでしょう。「もっと早く交換しとけよ！」という、皆様のツッコミが聞こえてきそうです…(笑)。(小早)

### 飛鳥のつばやき

#### 猛特訓！

二人目出産に伴う入院期間に向け、旦那氏早起きの特訓中。

一人目の時と違い、上の子の朝食づくり&食べさせ+保育園準備をしなければならないので、なかなかハードな業務負荷です。

1日目は意気揚々と朝食を作るものの、2日目には「飽きた」、3日目には「心が折れた…」と寝坊していましたが、子の「パパごはんつくって！」に励まされつつ、なんとか継続しています。

習慣づくりが一番大変。パパ頑張れ！ (大概)



## 株式会社そうじの力

そうじで組織と人を磨く、  
 日本で唯一の研修会社

弊社は“そうじ＝環境整備”を通じ

た「企業風土改革」を支援します。

講義、実習、チームミーティング、計画作り、現場検証を通じて、社長と社員の意識改革を図り、健全な企業風土作りをお手伝いします。

支援期間は1年から。毎月1回訪問を原則としますが、状況とご要望に応じて、プログラムをオーダーメイドします。また各種団体向けの講演のご依頼も受け付けております。(全国対応)